

ながの環境パートナーシップ会議

令和元（2019）年度通常総会 議事録

日 時 令和元(2019)年6月16日(日) 午前10時から11時半まで

場 所 長野市リサイクルプラザ 2階 大会議室

出席者 出席数110(出席29+委任状81 会員数179)

1 開 会 事務局長 長谷部環境保全温暖化対策課長

定刻につき会員数、出席数及び委任状の提出数が総会開催定足数を満たしているため、ながの環境パートナーシップ会議会則第25条の規定に基づき、総会は成立し開会する。

2 あいさつ 金井代表理事

ながの環境パートナーシップ会議の会員数が増加傾向であり、また、昨年度に引き続き新しいプロジェクトが誕生するなど明るい兆しが見えてきている。どうか本会の活動が今後も継続できるよう会員皆様の御支援、御鞭撻のほど、よろしく願います。

3 議長選出 赤羽副代表理事

4 議事と主な意見・質疑等

(1)平成30(2018)年度活動報告について (事務局・各チームリーダーから報告)

(2)平成30(2018)年度収支決算報告について (事務局から報告)

平成30(2018)年度監査報告について (小林監事から報告)

[主な意見など]

会 員⇒ 総会資料について、事前に会員の手元に届くようお願いしたい。

事 務 局⇒ 通知に記載したとおり、事前にホームページで公開している。また、事務局に連絡をいただければ紙ベースで郵送する。

会 員⇒ (生ごみチームへ)「ごみを出さない料理教室」とは、どんな講習会なのか。

リーダー⇒ 料理の残りかすとしての生ごみは、コンポストで資源にするため、可燃ごみは出ないという意味。

会 員⇒ (レジ袋チームへ)レジ袋を削減するというのは、レジ袋を「減量」するという意味なのか、「資源を大切にする」という意味なのか。

リーダー⇒ レジ袋を減量することでごみの減量になり、石油資源を守ることに繋がる。また、環境への配慮として、プラスチックが生態系へ影響を与えることを防ぐことにもなる。

挙手により採決 → 賛成多数で承認

- (3) 令和元(2019)年度運営方針(案)について (金井代表理事から説明)
(4) 令和元(2019)年度活動目標・活動計画(案)について (事務局・各チームリーダーから説明)
(5) 令和元(2019)年度収支予算(案)について (事務局から説明)
(6) 会費規程の一部改定について (事務局から説明)

[主な意見など]

- 会 員**⇒ 出席者が少なく、チームのリーダーが総会へ出席していないチームもある。
代表理事⇒ 毎年出席をお願いしているが、どうしても出席できない場合もある。それは委任状を出していただいている。また、プロジェクトの活動も見たい。
会 員⇒ 海洋汚染については、ポイ捨てをする人がいるのが要因になるので、防止の促進をしていくべきではないか。
事務局⇒ 地区で活動しやすいように、ごみゼロ運動も日付にこだわらず行っている。
会 員⇒ ごみを捨てるのを「拾う」のではなく、そもそも捨てさせない方向を目指してもらいたい。
会 員⇒ 近所の用水路のごみが気になるのでどうにかならないか。
代表理事⇒ 一人ひとりの意識を変えるため、ここにいる方々だけでなく、何をすればいいかを皆で考えていく必要がある。

挙手により採決 → 賛成多数で承認

(7)その他

[主な意見など]

- 会 員**⇒ 昨年度、本チームの活動中に死亡事故が起こった。活動において安全にできているのか各チームが見直していかなければいけない。また、保険の問題についても、考えていかなければいけない。
代表理事⇒ 活動中に不幸な事故があったことは報告すべきであった。事故の後、理事会で勉強会を開いて保険について検討した。今のボランティア保険では対応できない活動をしているチームもある。どういう方法が適切なのか検討していきたい。

5 閉 会 事務局長 長谷部環境保全温暖化対策課長
閉会を宣言し、散会。